

(市町村票)

厚生労働省 平成29年度子ども・子育て支援推進調査研究事業
保育所等の情報公開・情報発信に関する調査

特段の断りのない場合、平成29年4月1日時点の状況についてご回答ください。

1. 貴市区町村についてお答えください。

都道府県名		市区町村名	
調査回答部署		回答者名	
回答部署電話番号		メールアドレス	
就学前児童数	人	待機児童数	人

2. 貴市区町村における保育施設等における第三者評価の受審についてお伺いします。

① 貴市区町村では、各保育施設が第三者評価を受審することによってどのような効果があるとお考えですか。

- 施設を利用している保護者から信頼を得ることができる
- 施設に対する地域の信頼を得ることができる
- 行政に対し施設の姿勢をアピールすることができる
- 保育施設の利用を考えている保護者に対し、施設の情報を提供することができる
- 職員を目指す人に向けた情報を提供することができる
- 保育の質を向上させる
- 施設の職員間の情報共有やそれぞれの業務への理解を深めることができる
- その他(具体的に:)

② 貴市区町村では、各保育施設が第三者評価を受審しているかを把握されていますか。

- 全施設における受審状況を把握している
- 全施設ではないが、受審している施設があることを知っている
- 把握していない

→ 分かる範囲での受審施設数についてご回答ください。

平成29年度4月1日時点	保育所		認定こども園		認可外保育施設	
	公立	民間	公立	民間	認証	それ以外
市区町村内全施設数						
平成28年度受審あり						
過去1回でも受審あり						

→ 受審施設がある場合、第三者評価の結果と行政による指導監査の結果に大幅な齟齬があったことがありますか。

- 齟齬があったことはない
- 受審結果を把握していないため分からない
- 齟齬があったことがある

→ 齟齬があった場合に、具体的にどのような対応をとられましたか。

- 保育施設への再受審の依頼
- 評価機関への評価結果の見直しの依頼
- 指導監査のやり直し
- その他(具体的に:)

③ 貴市区町村では、各保育施設による第三者評価受審を促す取組みを実施していますか。

実施している

→ その場合の具体的な取組みをお選び下さい。

受審費用の補助 第三者評価機関の紹介 受審事例の紹介

保育施設に対しての第三者評価制度の普及啓発

利用者・地域住民に対しての第三者評価制度の普及啓発

受審することによるメリットの付与(補助金の申請要件とする等)

施設開設等、施設運営にあたって受審を要件とする

その他(具体的に:)

実施していない

→ 実施していない理由についてお答えください。

行政監査による対応で十分であるため 保育施設の自主性に委ねているため

予算上の制約のため 都道府県が所管しているため

評価基準・評価項目に疑問があるため 評価機関・評価調査者に不安があるため

その他(具体的に:)

④ 保育施設等における第三者評価の活用促進にあたってはどのようなことが必要になるとお考えですか。

保育所等の現場に沿った内容の評価基準により、評価が行われる

保育所等の現場を熟知した評価機関・評価調査者により評価が行われる

保育所等の現場の状況を十分に反映できる方法で評価が行われる(例:訪問調査の時間を長く設けるなど)

施設と評価機関・評価調査者のやりとりを通じて、納得感のある評価が行われる
(例:評価機関が評価結果を確定する前に施設への講評を行う、施設が異議のある点について協議する機会を設けるなど)

評価結果の公表方法や対象を限定する
(例:安全面など特に重要な点のみを公表する、abc評価ではなく総評やコメントを公表する、閲覧者を行政や事業関係者等に限定するなど)

保護者や地域に対し、施設が努力している点をアピールできるような仕組みを導入する
(例:a評価を受けた評価基準のみを公表する、評価結果と一緒に施設が改善努力を行った点を公表するなど)

自治体を受審した施設にメリットを設ける仕組みを導入する(例:他の補助金等の申請要件にするなど)

自治体を受審費用の補助を行う

その他(具体的に:)

特に必要と考えることはない

3. 貴市区町村における保育施設等における情報公開・情報発信についてお伺いします。

①保護者や地域に向けた保育施設等における情報公開・情報発信として、貴市区町村では、どのような情報を公開していますか。
また、保育所利用申請者から提供依頼の多い情報はどれですか。

	認可保育所		認定こども園		認可外保育施設		保育所利用申請者からの提供依頼が多い情報
	公立	民間	公立	民間	認証	それ以外	
1)施設の所在地・アクセス (通いやすさ、利便性など)	<input type="checkbox"/>						
2)施設の定員・入所状況 (前年度の待機児童の有無などを含む)	<input type="checkbox"/>						
3)開所時間、延長保育・休日保育の実施状況	<input type="checkbox"/>						
4)障害のある子どもや医療的ケアが必要な子どもへの対応状況	<input type="checkbox"/>						
5)利用申込の方法、利用料等 (入所選考の方法、月額保育料など)	<input type="checkbox"/>						
6)保護者が用意すべき用具・備品等 (寝具・おもちゃ等)	<input type="checkbox"/>						
7)職員について (職員数、年齢層、人柄や雰囲気など)	<input type="checkbox"/>						
8)施設設備について (施設の広さ、園庭の有無など)	<input type="checkbox"/>						
9)保育方針 (めざす子どもの姿、保育のねらい等)	<input type="checkbox"/>						
10)保育の様子 (日々の過ごし方、外遊びの実施状況など)	<input type="checkbox"/>						
11)給食の状況 (自園調理か、アレルギー対応、お弁当の必要性など)	<input type="checkbox"/>						
12)地域交流の状況(園庭開放、地域の人を招いた様々な体験、ふれあい交流など)	<input type="checkbox"/>						
13)安全・衛生面での対応方針 (感染症への対応、事故防止の取組など)	<input type="checkbox"/>						
14)職員を目指す人に向けた情報 (研修体制、勤務環境、受けられるサポートなど)	<input type="checkbox"/>						
15)地域への貢献(保育実習の受け入れなど)	<input type="checkbox"/>						
16)法人・施設の経営状況 (経営の安定性など)	<input type="checkbox"/>						
17)第三者評価の結果	<input type="checkbox"/>						
18)その他							<input type="checkbox"/>

②上記情報について、どのような方法で公開・発信していますか。

- 共通の項目について、情報収集し市区町村ホームページ等に掲載
- 市区町村からの配布物(利用申し込み案内など)において掲載
- 市区町村の相談窓口(保育コンシェルジュ等)を用意し、個別の相談に対応
- その他(具体的に:)

③上記情報公開・発信以外に、保育施設等の情報公開・発信について、どのような取組を実施していますか。

- 各施設のホームページ作成費用の補助
- 各施設のホームページ等を市区町村ホームページ等にてリンク
- 個別の保育施設において情報公開・発信を行うためのガイドライン・マニュアルの整備
- その他(具体的に:)

④保育施設等における情報公開・発信において、貴自治体で工夫していることがございましたらご記入ください。

4. 保育施設等における情報公開・発信にあたり、どのようなことを課題として感じられていますか。

- どのような情報を開示すればよいか分からない
- 情報発信の方法が分からない
- 必要な情報を十分に公開できているか分からない
- 届けたい人に情報が届いていない
- タイムリーな情報発信ができない
- 情報発信にかけている時間的余裕がない
- その他(具体的に:)

5. 保育施設等における情報公開・発信を推進するにあたり、どのような取組みが必要であると思われますか。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

(保育施設票)

厚生労働省 平成 29 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業
保育所等の情報公開・情報発信に関する調査

- 選択肢を選ぶ設問では、該当する番号を○(マル)で囲ってください。
- 特に断りのない限り、平成 29 年 4 月 1 日時点の状況についてご記入ください。
- ご回答いただいた調査票は、返信用封筒に封入の上、**平成 29 年 11 月 7 日(火)まで**に調査事務局への発送をお願いいたします。
- お問い合わせ先：社会福祉法人 日本保育協会 調査事務局(担当：企画情報部)
TEL：03-3222-2114(受付：平日 10:00~17:00)

I. 貴施設について

問1 貴施設の概要についてご記入下さい。

1) 施設名			
2) 施設の種類 (1つに○)	01 認可保育所	02 認定こども園	
	03 都道府県等の認証保育施設	04 認可外保育施設(03以外)	
3) 所在地	都・道・府・県		市・区・町・村
4) 開設年	(西暦)	年	
5) 運営主体	01 自治体	02 社会福祉法人	03 学校法人
	04 宗教法人	05 NPO法人	06 株式会社・有限会社
	07 個人	08 その他()	
6) 児童定員数・ 在籍児童数	児童定員数	名	在籍児童数 名

II. 第三者評価の受審について

問2 貴施設は、過去に福祉サービス第三者評価を受審した経験がありますか。また、今後、受審することを考えていますか。貴施設の考えに当てはまるものをお選び下さい。(1つに○)

- 01 受審経験があり、今後も受審を継続する ⇒ 問3へ
- 02 受審経験があるが、今後は受審を継続することは考えていない ⇒ 問3へ
- 03 受審経験はないが、今後受審することを考えている ⇒ 問8へ
- 04 受審経験がなく、今度も受審することは考えていない ⇒ 問8へ

注：受審経験の有無は、受審した年度を問わず、過去に1度でも受審経験があるかどうかでお答え下さい。

●問3～7は、問2で第三者評価の受審経験があると回答された施設にお尋ねします。

問3 貴施設における第三者評価の受審状況についてご記入下さい。

1) 直近の受審年度	(西暦)	年	2) 過去の受審回数	回
------------	------	---	------------	---

注：過去の受審回数は、1)にご記入いただいた直近の受審を含む合計回数をご記入下さい。

問4 貴施設が第三者評価を受審したきっかけとして当てはまるものをお選び下さい。(1つに○)

01 施設・運営法人等の方針	02 自治体からの指示、勸奨（金銭的補助あり）
03 自治体からの指示、勸奨（金銭的補助なし）	04 その他（ ）

注：過去に複数回受審している場合は、直近の受審経験についてお答え下さい。(以降の設問についても同様)

問5 第三者評価の受審時に、評価機関の選定にあたり最も考慮した点をお選び下さい。(1つに○)

01 受審費用（価格）	02 評価機関の評判	03 過去の受審時からの継続性
04 他施設からの紹介であること	05 自治体からの紹介であること	06 その他（ ）

問6 貴施設では、第三者評価の受審により、どのような成果があったと考えていますか。「とても成果があった」～「まったく成果がなかった」の選択肢の中から、項目ごとに貴施設の考えに当てはまるものをお選び下さい。(それぞれ1つに○)

	第三者評価受審による成果（それぞれ1つに○）				
	とても成果があった	ある程度成果があった	どちらともいえない	あまり成果がなかった	まったく成果がなかった
1)自施設を利用している保護者から信頼を得ること	01	02	03	04	05
2) 自施設に対する地域の信頼を得ること	01	02	03	04	05
3) 行政に対し自施設の姿勢をアピールすること	01	02	03	04	05
4) 保育施設の利用を考えている保護者に対し、自施設の情報を提供すること	01	02	03	04	05
5) 保育の質を向上させること	01	02	03	04	05
6)自施設の職員間の情報共有やそれぞれの業務への理解を深めること	01	02	03	04	05
7) その他（ ）	01	02	03	04	05

問7 貴施設が第三者評価を受審して不満に感じたことについてお選び下さい。(すべてに○)

01 受審費用が負担であった	02 受審にあたっての職員の負担が大きかった
03 評価基準・評価項目に疑問があった	04 評価機関・評価調査者に不満があった
05 評価結果の活用方法が分からない	06 評価結果の公表方法に不満があった
07 受審の意義が分からない	08 その他（ ）
09 特に不満はない	

●問8は、問2で第三者評価の受審経験がないと回答された施設にお尋ねします。

問8 貴施設が第三者評価を受審していない理由として当てはまるものをお選び下さい。(すべてに○)

01 受審費用が負担であるため	02 受審にあたっての職員の負担が大きいため
03 評価基準・評価項目に疑問があるため	04 評価機関・評価調査者に不安があるため
05 評価結果の活用方法が分からないため	06 評価結果の公表方法に不満があるため
07 受審の意義が分からないため	08 その他 ()

●問9以降は、第三者評価の受審経験に関係なく、全施設にお尋ねします。

問9 貴施設は、第三者評価をどのように活用することができれば、今後、第三者評価を積極的に受審したいと考えますか。貴施設の考えとして当てはまるものをお選び下さい。(主なもの3つまでに○)

01 施設の現場で行われている日々の取組が評価に反映され、職員の士気が上がる
02 職員がよりよい保育を目指すための気付きを得ることができる
03 自施設を利用している保護者に対し、自施設の取組をアピールすることができる
04 保育施設の利用を考えている保護者に対し、自施設の取組をアピールすることができる
05 地域の住民に対し、自施設の取組をアピールすることができる
06 行政に対し、自施設の取組をアピールすることができる
07 その他 ()
08 いずれにしても受審したいと思わない

問10 貴施設が、問9で回答されたことを実現するために、必要と考えることとして当てはまるものをお選び下さい。(最もあてはまるもの1つに、そのほかあてはまるもの2つまでに○)

	最も 当ては まる (1つ)	当ては まる (2つまで)
01 保育所等の現場に沿った内容の評価基準により、評価が行われる		
02 保育所等の現場を熟知した評価機関・評価調査者により評価が行われる		
03 保育所等の現場の状況を十分に反映できる方法で評価が行われる (例：訪問調査の時間を長く設けるなど)		
04 施設と評価機関・評価調査者のやりとりを通じて、納得感のある評価が行われる (例：評価機関が評価結果を確定する前に施設への講評を行う、施設が異議のある点について協議する機会を設けるなど)		
05 評価結果の公表方法や対象を限定する (例：安全面など特に重要な点のみを公表する、abc評価ではなく総評やコメントを公表する、閲覧者を行政や事業関係者等に限定するなど)		
06 保護者や地域に対し、施設が努力している点をアピールできるような仕組みを導入する (例：a評価を受けた評価基準のみを公表する、評価結果と一緒に施設が改善努力を行った点を公表するなど)		
07 自治体が受審した施設にメリットを設ける仕組みを導入する (例：他の補助金等の申請要件にするなど)		
08 自治体が受審費用の補助を行う		
09 その他 ()		
10 特に必要と考えることはない		

Ⅲ. 情報公開・情報発信について

問11 貴施設では、施設を利用している保護者および地域に向けた情報公開・情報発信として、どのような情報を公開・発信していますか。当てはまるものをお選び下さい。(すべてに○)

■地域に向けた情報

01 施設の所在地・アクセス	02 定員・入所状況 (前年度の待機児童の有無などを含む)
03 開所時間、延長保育・休日保育の実施状況	04 障害のある子どもや医療的ケアが必要な子どもへの対応状況
05 利用申込の方法、利用料等 (入所選考の方法、月額保育料など)	06 保護者が用意すべき用具・備品等 (寝具・おむつ等)
07 職員について(職員数、年齢層、人柄や雰囲気など)	08 施設設備について (施設の広さ、園庭の有無など)
09 保育方針 (めざす子どもの姿、保育のねらいなど)	10 保育の様子 (日々の過ごし方、外遊びの実施状況など)
11 給食の状況 (自園調理か、アレルギー対応、お弁当の必要性など)	12 地域交流の状況 (園庭開放、地域の人を招いた様々な体験、ふれあい交流など)
13 安全・衛生面での対応方針 (感染症への対応、事故防止への取組など)	14 職員を目指す人に向けた情報 (研修体制、勤務環境、受けられるサポートなど)
15 地域への貢献 (保育実習の受け入れなど)	16 法人・施設の経営状況 (経営の安定性など)
17 第三者評価の結果	18 その他()

■施設を利用している保護者に向けた情報

01 職員について (担当制、職員の異動など)	02 施設設備について (設備や園庭の管理、教材や遊具など)
03 保育方針 (保育の理念、年齢に応じた保育のねらいなど)	04 保育の様子 (日々のエピソード、行事の様子など)
05 各子どもの保育施設での様子	06 給食の状況 (献立、実際に食べた量など)
07 地域交流の状況 (園庭開放、地域の人を招いた様々な体験、ふれあい交流など)	08 安全・衛生面での対応方針 (感染症への対応、事故防止へ取組など)
09 法人・施設の経営状況(経営の安定性など)	10 第三者評価の結果
11 その他()	

問12 貴施設では、保護者以外の地域の方から保育施設への理解を得るために、地域に向けた情報公開・情報発信についてなんらかの工夫を行っていますか。工夫を行っている場合は、具体的な内容をご記入下さい。例) 地域への定期通信の配布、地域の掲示板などへの広報物の掲示、地域だよりへの寄稿など

01 工夫を行っている ⇒ 具体的な内容を下枠内にご記入下さい。

02 特に行っていない

問13 貴施設では、上記のような情報公開・情報発信にあたり、自治体から何らかの支援を受けていますか。当てはまるものをお選び下さい。(すべてに○)

- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| 01 ホームページ作成の費用の補助 | 02 自治体ホームページへのリンク |
| 03 情報公開・発信を行うためのガイドライン・マニュアルの整備 | |
| 04 その他 () | 05 特に支援を受けていない |

問14 保護者および地域に向けた情報公開・情報発信について、貴施設が課題と認識されている点として当てはまるものをお選び下さい。(すべてに○)

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 01 どのような情報を開示すればよいか分からない | 02 情報発信の方法が分からない |
| 03 必要な情報を十分に公開できているか分からない | 04 届けたい人に情報が届いていない |
| 05 タイムリーな情報発信ができない | 06 情報発信にかけている時間的余裕がない |
| 07 その他 () | 08 特にない |

問15 その他、保護者や地域への情報公開・情報発信についてご意見等があればご自由にご記入下さい。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

(保護者票)

厚生労働省 平成 29 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業
保育所等の情報公開・情報発信に関する調査

- 選択肢を選ぶ設問では、該当する番号を○(マル)で囲ってください。
- 特に断りのない限り、平成 29 年 4 月 1 日時点の状況についてご記入ください。
- ご回答いただいた調査票は、返信用封筒に封入して配布された施設にご提出ください。
- お問い合わせ先：社会福祉法人 日本保育協会 調査事務局(担当：企画情報部)
TEL：03-3222-2114(受付：平日 10:00~17:00)

I. 回答者ご自身について

問1 年齢・性別をお答えください。

年齢	() 歳	性別	01 男性	02 女性
----	-------	----	-------	-------

問2 お子さんとの続柄をお選びください。

01 母親	02 父親	03 祖父母	04 その他
-------	-------	--------	--------

II. お子さんについて

問3 本調査票の対象となったお子さんの在籍クラス・性別をお答えください。

在籍クラス	() 歳児クラス	性別	01 男性	02 女性
-------	-----------	----	-------	-------

注：複数のお子さんがある場合には、本調査票を配布されたお子さんについてお答え下さい。(以下の設問についても同様)

問4 本調査票の対象となったお子さん、またはそのお子さんのご兄弟・姉妹は、本調査票を受け取った保育施設とは異なる保育施設を利用したことがありますか。ある場合には、その施設種類についてお答えください。

01 はい ⇒ あてはまるものに○をつけてください。		
11 認可保育所	12 認定こども園	13 都道府県等の認証施設
14 認可外保育施設(13以外)	15 幼稚園	16 その他()
02 いいえ		

問5 本調査票の対象となったお子さんについて、あなたは現在の保育施設に満足していますか。

01 満足している	02 どちらかといえば満足している	03 どちらともいえない
04 どちらかといえば満足していない	05 満足していない	

Ⅲ. 保育施設に関する情報について

●問6、7は、現在利用している保育施設の利用開始前の時点についてお尋ねします。

問6 現在利用している保育施設の利用を検討するにあたり、どのような情報源から情報収集を行いましたか。また、そのうち、一番有益であった情報源はどちらになりますか。

	利用した情報源 (あてはまるものにすべて〇)	一番有益であった情報源 (1つに〇)
(1) 自治体のホームページ		
(2) 自治体からの配布物(利用申込案内など)		
(3) 自治体の相談窓口(保育コンシェルジュ等)		
(4) 保育施設が独自に発信する情報(ホームページ、地域の掲示板などに掲示されたお知らせなど)		
(5) 保育施設への訪問、施設見学		
(6) 友人・知人等からの口コミ情報		
(7) 自治体・保育施設以外のインターネット情報(民間の口コミ情報サイト、SNSなど)		
(8) その他		

問7 現在利用している保育施設の利用を検討するにあたり、入所前にどのような情報を収集しましたか。また、そのうち、現在の施設の利用の決め手となった情報は何か。また、入所前には分からなかったものの、事前に知っておきたかった情報は何か。あてはまるものすべてに〇をつけてください。

	入所前に収集した情報	施設利用の決め手となった情報	事前に知っておきたかった情報
(1) 施設の所在地・アクセス(通いやすさ、利便性など)			
(2) 施設の定員・入所状況 (前年度の待機児童の有無などを含む)			
(3) 開所時間、延長保育・休日保育の実施状況			
(4) 障害のある子どもや医療的ケアが必要な子どもへの対応状況			
(5) 利用申込の方法、利用料等 (入所選考の方法、月額保育料など)			
(6) 保護者が用意すべき用具・備品等(寝具・おむつ等)			
(7) 職員について(職員数、年齢層、人柄や雰囲気など)			
(8) 施設設備について(施設の広さ、園庭の有無など)			
(9) 保育方針(めざす子どもの姿、保育のねらい等)			
(10) 保育の様子(日々の過ごし方、外遊びの実施状況など)			
(11) 給食の状況 (自園調理か、アレルギー対応、お弁当の必要性など)			
(12) 地域交流の状況(園庭開放、地域の人を招いた様々な体験、ふれあい交流など)			
(13) 安全・衛生面での対応方針 (感染症への対応、事故防止の取組など)			
(14) 法人・施設の経営状況(経営の安定性など)			
(15) 第三者評価の結果*			
(16) その他			

※第三者評価

保育施設等で行われている福祉サービスを、公正で中立な第三者機関が、専門的で客観的な立場から評価するもの

●問8、9は、現在利用している保育施設における現時点の状況についてお尋ねします。

問8 現在利用している保育施設では、どのような方法で保護者に各種情報の提供が行われていますか。また、そのうち、一番有益である方法はどちらになりますか。

	情報提供の方法 (あてはまるものにすべて○)	一番有益である方法 (1つに○)
(1) 保育施設から保護者へのお知らせ(通信やおたよりなどの配布物、施設内に掲示されるお知らせなど)		
(2) 日々の保育士と保護者のやり取り (送迎時、連絡帳を含む)		
(3) 保護者向けの行事 (保護者懇談会や保育参観、保護者面談など)		
(4) 保育施設が独自に発信する情報(ホームページ、地域の掲示板などに掲示されたお知らせなど)		
(5) 自治体のホームページなど		
(6) その他		

問9 現在利用している保育施設では、現在どのような情報が提供されていますか。また、現在提供されていない(もしくは知らない)ものの、知りたい情報は何か。(1)～(11)について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	十分に提供されている	十分ではないが提供されている	どちらともいえない	あまり提供されていない	提供されていない(もしくは知らない)ものの、知りたい情報
(1) 職員について(担当制、職員の異動など)	01	02	03	04	05
(2) 施設設備について (設備や園庭の管理、教材や遊具など)	01	02	03	04	05
(3) 保育方針 (保育理念、年齢に応じた保育のねらいなど)	01	02	03	04	05
(4) 保育の様子(日々のエピソード、行事の様子など)	01	02	03	04	05
(5) わが子の保育施設での様子	01	02	03	04	05
(6) 給食の状況(献立、実際に食べた量など)	01	02	03	04	05
(7) 地域交流の状況 (園庭開放、地域の人を招いた様々な体験、ふれあい交流など)	01	02	03	04	05
(8) 安全・衛生面での対応方針 (感染症への対応、事故防止の取組など)	01	02	03	04	05
(9) 法人・施設の経営状況(経営の安定性など)	01	02	03	04	05
(10) 第三者評価の結果	01	02	03	04	05
(11) その他	01	02	03	04	05

●保育施設の情報公開・情報発信についてお尋ねします。

問10 あなたは、福祉サービス第三者評価※制度を知っていますか。また、知っている場合には、現在利用している保育施設が第三者評価を受審しているかや、その結果を知っていますか。(それぞれ1つに○)

※第三者評価
保育施設等で行われている福祉サービスを、公正で中立な第三者機関が、専門的で客観的な立場から評価するもの

1) 第三者評価制度を知っているか 01 知っている 02 知らない	2) 現在利用している施設が第三者評価を受審しているかやその結果を知っているか 01 第三者評価を受審しており、その結果を知っている 02 第三者評価を受審しているが、その結果は知らない 03 第三者評価を受審していない 04 第三者評価を受審しているかどうかを知らない
--	---

問11 【問10の2)で01または02と回答された方にお伺いします。】
あなたは、現在利用している保育施設が第三者評価を受審したことによって、どのような変化があったと感じますか。あなたの考えに当てはまるものをすべてに○をつけてください。

01 職員に前向きな変化があった	02 職員が忙しく大変そうだった
03 施設の良いところに気付いた	04 施設の課題面を知った
05 施設に対する地域の人々の理解が進んだ	06 その他 ()
07 特に変化を感じた点はない	

問12 あなたは、第三者評価制度によって、保育施設の何を評価してもらいたいですか。あてはまるものをすべてに○をつけてください。

01 職員	02 施設設備	03 保育方針
04 日々の保育の様子	05 給食の状況	06 地域交流の状況
07 安全・衛生面での対応	08 その他 ()	09 特になし

問13 あなたは、保育施設が自ら発信する情報について、どのようなことが課題であると感じますか。あてはまるものをすべてに○をつけてください。

01 知りたい情報の入手方法が分からない	02 知りたい情報が迅速に得られない
03 入手した情報が信頼できるか分からない	04 その他 ()
05 特になし	

問14 その他、保育施設に関する情報提供についてご意見等があればご自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

保育所等の情報公開・情報発信に関する調査研究委員

石川 昭 義 (仁愛大学教授)

小笠原 文 孝 (社会福祉法人顕真会理事長)

金子 恵 美 (日本社会事業大学教授)

志賀口 大 輔 (なごみこども園園長)

高 橋 絃 (社会福祉法人至誠学舎立川
保育事業本部 至誠保育総合研究所所長)

○ 西 村 重 稀 (仁愛大学名誉教授)

堀 昌 浩 (認定こども園さくら園長)

(○：委員長 50音順)

平成 29 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業
「保育所等の情報公開・情報発信に関する調査研究」報告書

平成 30 年 3 月

社会福祉法人 日本保育協会

〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-6-2
アーバンネット麹町ビル 6 階
電話：03（3222）2111（代表）
FAX：03（3222）2117

本報告書は当協会ホームページに PDF を掲載しております。

<http://www.nippo.or.jp/research/>